

第3回 藤沢市立学校通学区域見直し【南部】ワークショップ
開催結果について

- ・開催日時:2024年12月17日(火)午後1時~午後3時
- ・開催場所:藤沢市民会館 第1展示集会ホール
- ・ファシリテーター:徳田 太郎氏(NPO 法人日本ファシリテーション協会 フェロー)
- ・ワークショップ参加者:39人 見学者:3人 運営スタッフ:10人 合計52人

○当日配付資料

- ・別添のとおり

議事要旨

1. 開会

2. 第2回ワークショップの振り返り

第2回ワークショップで「区域見直しのポイント」と「区域見直し案の作成方法」で出された意見で、特に重要だと思ふ意見に「3点」「2点」「1点」を付けた結果と、通学区域見直し案作成に当たり前提とした考え方について事務局から説明した。

質疑応答なし

3. 「区域見直し案 ver.1」について

区域見直し案は個別にお渡しする予定はないこと、ホームページに掲載する予定はないことを説明した。ある程度、案が固まった段階で公開するまで、撮影しないようにご協力いただくことをお願いした。

資料に沿って事務局から説明した。

・「区域見直し案 ver.1」の〈安全性〉について、各グループの担当エリアを中心に話し合った。

各人に3枚ずつシールを配り、各グループで出された意見の中で、特に重要だと思ふ意見に「共感シール」を貼った。シールを貼った結果は、別紙第3回通学区域見直し南部ワークショップグループワークで出された意見一覧のとおり。

・「区域見直し案 ver.1」の〈自治会との関係〉について、各グループの担当エリアを中心に話し合った。

各人に3枚ずつシールを配り、各グループで出された意見の中で、特に重要だと思う意見に「共感シール」を貼った。シールを貼った結果は、別紙第3回通学区域見直し南部ワークショップグループワークで出された意見一覧のとおり。

(意見)

・学区が分断され、その自治会や町内会に子ども会がないと、子どもを集められない。通っていない小学校の地区レクや運動会をやっていても行きづらいと思う。子ども会を作ればいいのだが、子ども会は消滅しているところがある。子どもたちを盛り上げていくためにも、自治会や町内会を分断することについては、検討する必要がある。社体協で地区レクを主催している立場として感じた。

・収容人数で区切るのはいいと思うが、解決できない部分がある。今後区域見直し案 ver.2、ver.3 が作られるが、自治会をフレキシブルに変更できる余地を残してほしい。少し変えれば、自治会・町内会を分断することがなくなるのでお願いしたい。

・ワークショップのメンバーに、これから小学生になるお子さんの保護者や、今小学生の保護者が少ないので、現実味がない。次年度のワークショップに子育て世代の方が参加してくれると、率直な意見が聞けていいと思う。

4. 今後の開催見込みについて

令和7年4月に通学区域検討委員会を開催し、そこで今後の南部ワークショップの予定を決めることを説明した。

開催日数日前に改めて事務局から出欠の連絡をする旨を説明した。

以上